

教育目標

『思いやる』
「感動と活力のある学校」

『よく考える』
「学ぶ期待のある学校」

『力強く生きる』
「一人ひとりが輝く学校」



烏山中だより

令和 8 年 7 月 17 日
No. 4

烏山学舎 世田谷区立烏山中学校 校長 加瀬 康夫
世田谷区南烏山 4-26-1 TEL 03-3300-6361
FAX 03-3300-6363



きっとだよ そして、とびきりすてきな自分になろうね！

いちばん大切なこと (First things first) より ドロシー・ロー・ノルト

この言葉は、アメリカの作家兼子育てコンサルタントであるドロシー・ロー・ノルトが日本の小学生に贈るために書かれた「いちばん大切なこと (First things first)」という詩の中で使われている言葉です。この詩は「あのね…」から始まり「それから…」と 16 個の大切なことが書かれており、それぞれの大切なことのあとに「きっとだよ そして、とびきりすてきな自分になろうね！」と続いているのです。

さて、その 16 個の大切なこととは

- ①ものには順番があるの、自分の番がくるまで待とう
- ②自分の役目はちゃんと果たそう
- ③ひとの役に立ってあげよう
- ④やるといったことは必ずやろう
- ⑤ひとと一緒に過ごす時間を大切にしよう
- ⑥ルールは守ろう
- ⑦自分にできることだけを約束しよう
- ⑧始めたことは最後までやりとげよう
- ⑨あったことはありのままに、ほんとうのことを話そう
- ⑩とても大切に思っているよって家族に伝えよう
- ⑪間違いや失敗をしてもいいからその間違いや失敗からちゃんと学ぼう
- ⑫ひとの過ちは許してあげよう
- ⑬正しいことをしよう
- ⑭自分の身体を大事にして、身体によいことを実行しよう
- ⑮いちばんなりたい自分になるためにいっしょうけんめいがんばろう
- ⑯ほら大きく目を開けて母なる自然の美しい世界をしっかりと見つめよう

中学生からすると、「そんなのは、当たり前」と思えるものも多いと思いますが、みなさんの考える「大切なこと」は、この中に入っていますか、それとももっと他の「大切なこと」が頭に浮かんでいますか。

①～⑯のどれはできているとか、いろいろな考えがあってもよいと思いますが、「⑮いちばんなりたい自分になるためにいっしょうけんめいがんばろう」が大切であるということには同意できるのではないのでしょうか。(同意してもらいたい。)

そして、これを実践するためには「いちばんなりたい自分」とはどんな人間なのかを、しっかりと考える必要があります。併せて今の自分はどうか、これから何を頑張っていけばいいのか、と考えてもらいたいです。

まもなく夏休みに入りますが、自分について考えてみる時間をとる良い機会なのではないと思います。三者面談などもあり、先生と保護者と一緒に自分のことについて話をしたり、情報を共有することのできる機会となります。特に 3 年生は進路に関すること話になるわけですが「進路」と「いちばんなりたい自分」についてよく考え、話し合ってください。

この詩の作者は、著書の中で「自分について知ることは、わたしたち人間にとってとても大切な仕事です。だってわたしたちは、1 日 24 時間、1 週間に 7 日、つまりいつだって自分といっしょに生きているのですから。」と述べています。

①～⑯の大切なことをヒントに、「とびきりすてきな自分になるため」の時間をとってみてください。

そしてこのドロシー・ロー・ノルトは、子育てコンサルタントでもあるので、この詩には最後にこんな言葉が添えられています。

「この詩が、お母さんやお父さんたちのためにも役立ちますように。」



河口湖移動教室（1 学年）を実施しました 7月6日（月）～8日（水）

7月6日（月）～8日（水）の2泊3日で1学年の河口湖移動教室を実施しました。1日目、2日目とも天候は曇りで、行程は予定通り進められましたが富士山の姿を一目も見ることができない状態でした。3日目は、少しずつ雲が減り、学園から富士山へ向けて出発するころには、山頂なども少し見えるようになり、五合目まで移動する間には途中で雲海を抜けて、まさに「頭を雲の上に出し…」の状況で、その後も日がさしたり、急に雲がかかったりと景観と合わせて自然の変化を体感できる散策を行うことができました。



大切な心と体を守るために

みなさんの体や心は、それぞれ、自分自身だけのものです。

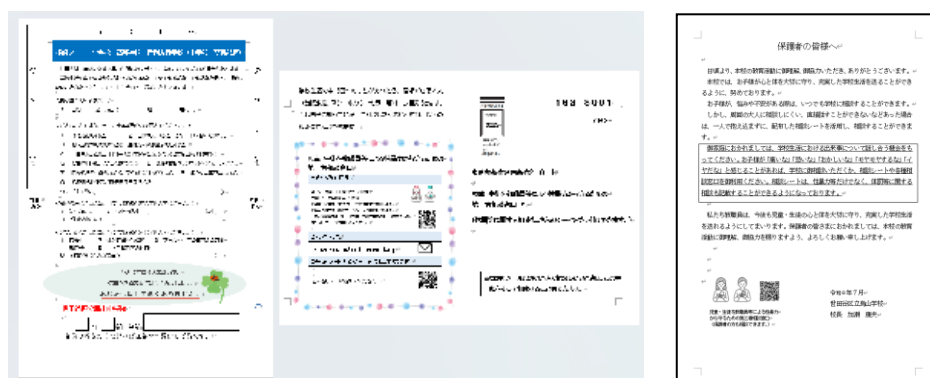
叩かれる、蹴られる、突き飛ばされるなどの肉体的に苦痛を感じるような行為だけが暴力ではありません。くり返し傷つく言葉を言われる、机を蹴られるなどの精神的に苦痛を感じる行為も暴力に含まれます。

暴力は、どんな理由があっても、誰であっても、決して許されるものではありません。

肉体的な苦痛でなくても、繰り返し暴言や心を傷つける言葉を言ったり、机を蹴ったりして威圧する等、精神的な苦痛を与えることも不適切な行為になります。

もし、自分が体罰や性暴力の被害に遭いそうになったら、または被害に遭ってしまったら、一人で抱え込んだり悩んだりしないで、家族や先生、養護教諭、スクールカウンセラー等の信頼できる大人に知らせてください。

学校に話しにくい場合には、みなさんが学校以外にも、相談できる窓口があります。その相談窓口には用紙に書かれているメールアドレスや二次元コードで読み取った先の電話番号に連絡すると、体罰や性暴力に関する話を聞いてくれて、みなさんのことを助けてくれます。また、この用紙に話したいことを書いて、糊付けをすれば、切手無しで郵送で送ることができますし、インターネットからも回答が可能です。（用紙は学校HPからもダウンロードできます。）



👉 学校 HP の
「配布文書」で
公開しています。

夏季休業期間中の学校閉庁日について

令和8年8月12日（水）、13日（木）、14日（金）、17日（月）、18日（火）

※緊急時の対応について 保護者からの緊急電話連絡は、教育総務課において対応となります。

【緊急時連絡先】 教育総務課調整係 電話：5432—2652（直通）